

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	23	事業名	文化・文化財事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪	決算書ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	—	会計区分	一般会計	
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款 - 項 - 目)		
	その他(関係計画、要綱等)	有 古戦場公園再整備基本計画	9-4-6 文化財費		
	事業開始の背景、経緯等	平成28年度に策定した古戦場公園再整備基本計画にしたがって、この地域のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承するために、古戦場公園内に古民家を含め、歴史民俗体験施設を整備することになった。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	(両者と協働不可の場合はその理由) 市民とのみ協働可				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 江戸時代後期の建築とされる市内に現存する最古級の古民家について、この地域のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に伝えるため、歴史民俗体験施設の一部として、古戦場公園内に移築する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内に現存する最古級の鳥居建て形式の古民家
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 歴史民俗体験施設の一部として古戦場公園に移築し、この地域のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承する文化財施設として、活用することができるようにする。

コスト推移	項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
	事業費(A)	千円	予算	—	35,982	33,637	20,372	18,420
	決算		—	34,986	21,373	19,427		
	人件費(B)	千円	決算	—	6,326	5,472	5,541	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	—	41,312	26,845	24,968	
	事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	棟		—	1	1	1	1
	対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		—	13,771	22,719	36,785	

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
		移築する古民家の棟数	棟	目標	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	—
	(指標の設定根拠) この地域のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承するためには、市内に現存する最古級の古民家を市民が気軽に利用できるように古戦場公園に移築する必要があるため (前年から指標を変更した場合はその理由) (前年までの指標)	(数値目標の根拠) ・目標値が「—」であるのは、令和4年に解体移築設計業務を行い、令和5年度から移築工事に着手するため ・江戸時代後期の建築物とされ、市内に現存する最古級の古民家1棟を歴史民俗体験施設として、古戦場公園に移築することで事業意図を達成する機会となる						

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 古民家(主屋)を移築する際には、市民の力を生かした整備手法により、コスト縮減を図る。また、事業意図を達成するために、古民家の鳥居立て形式を含む再利用可能な貴重な部材をできる限り活用した移築方法とすることを決定した。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度は、古戦場公園に整備する歴史民俗体験施設に関するワークショップを2回開催した。ただ、参加するメンバーが固定化され、多くの意見、提案を集約する工夫が必要である。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 今後は、古民家移築の協働作業に参加するコアメンバーを発掘し、担い手となっていただくことが重要と考える。引き続きワークショップを年3回開催し、古民家移築に関心を持つ市民を増やす。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	歴史民俗体験施設整備事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	
	(1)	市民参加の延べ人数	人	見込	100	120	500	500	500
				実績	60				
(2)	【アクションプラン】 整備する古民家の棟数	棟	見込	—	—	—	—	—	
			実績	—					
(3)			見込						
			実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> ・市民参加の延べ人数は、古戦場公園再整備事業市民ワークショップ参加延べ人数とする。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、ワークショップを2回しか開催することができなかった。							今後の方向性	改善・見直し	

事業を構成する 事務事業②	事務事業②	/							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	
	(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
				実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
			実績						
(3)			見込						
			実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性		

事業を構成する 事務事業③	事務事業③	/							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	
	(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
				実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
			実績						
(3)			見込						
			実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性		

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民に、市内に現存する最古級の古民家を活用して、この地域の当時のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承していく。
	中長期の目標	(いっごころまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和7年度までに古民家を含む歴史民俗体験施設を整備し、この地域のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に伝える展示や昔の生活の体験活動を継続的に行う。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・市全体の財政状況を鑑み、事業費全般の圧縮に努めてください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。
	内部意見への回答	